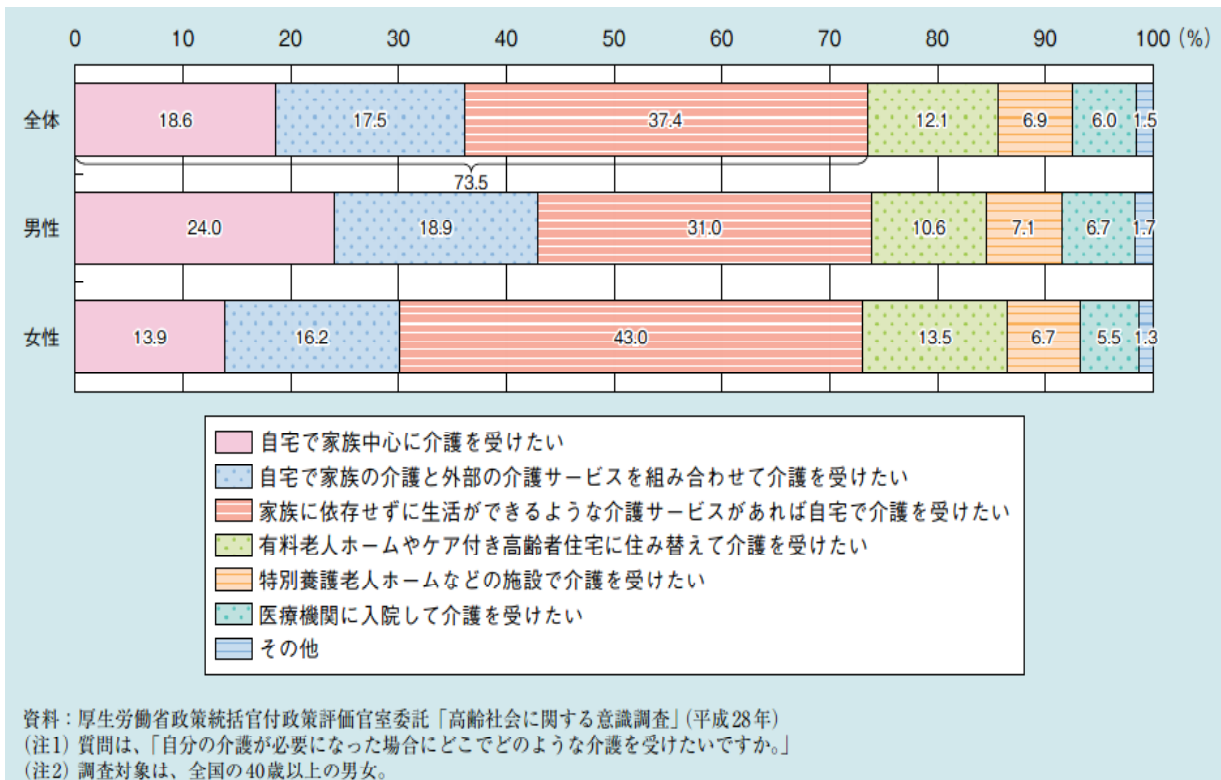


### 【どこでどのような介護を受けたいか】

厚生労働省の「高齢社会に関する意識調査」（全国の40歳以上の男女を対象）によると、自分の介護が必要となった場合に、どこでどのような介護を受けたいかの希望についてみると、自宅で介護を受けたいと回答した人の割合（「自宅で家族中心に介護を受けたい」、「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」、「家族に依存せずに生活ができるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」と回答した者の割合の計）は全体で73.5%となっています。

また、男女別にみると、男女ともに「家族に依存せずに生活ができるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」と回答した者の割合が最も高くなっていますが、男性は「自宅で家族中心に介護を受けたい」と回答した者の割合が24.0%と女性（13.9%）より高くなっています。



資料：内閣府「高齢社会白書」（平成30年版）